

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	プール運営事業				開始年度	平成16年度		
基本目標	生涯にわたる心身の健康づくり				終了年度			
担当課(局)	健康福祉課	担当係	健康推進係	記入者	鳥取 真弓		評価者	井上 敏郎
20年度決算	31,643	千円	21年度予算	32,086	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,725 千円		21年度人件費	2,112 千円		事業従事者数	H20 0.24 人	H21 0.29 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	プール利用により心身の健康づくりに役立てるとともに、1年を通じて集客体制を整え収入増を目指す。
事業の内容	プールの利用を呼びかけ、引き続き大人・子どもの水泳教室等の各種教室を開催する。イベントを実施することで新規の利用者を増やし、また、利用の継続につなげていく。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 利用者数	プールのPRやイベントを開催することにより、利用者が増加する。
	2 プール利用料	利用者が増えることで、利用料の増収につながる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 委託先との打合わせ	今年度から定期的に委託先との打合わせを実施(2~3ヶ月毎に実施)。
	2 広報活動数	お知らせ、ポスター、ホームページ等でプールのPR及び初めてのイベントの開催。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	利用者数	目標値	人	21,500	21,770	22,700
		実績値		20,669	22,273	
		達成率	%	96.1%	102.3%	
	プール利用料	目標値	円	5,240,000	5,315,000	5,700,000
		実績値		5,041,000	5,959,500	
		達成率	%	96.2%	112.1%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	委託先との打合わせ	目標値	回			5
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	広報活動数	目標値	回			6
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	平成20年度から、医療保険者による特定健診・保健指導が導入され、生活習慣病に対する積極的な予防の必要性が叫ばれるなか、健康に及ぼす影響を町が直接評価していくことができる。また、町内に健康づくりの施設が少なく、民間も採算を考えると参入しにくい分野のため町が実施することが妥当である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	プールを継続的に利用することによって、健康状態が改善されるとともに、アンケート(H20. 9月~10月実施)からは、心の健康にも役立っていることが推察される。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	委託先との頻回な打ち合わせ、広報回数が増え、イベントの実施により、利用者の増加と楽しいプール利用につながると考える。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	現利用者が、感想や体験など話してもらい、身近な人に声かけをし、プールへ誘ってもらおう。

事務事業名	プール運営事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>2年目に入ったメタボ健診を利用して、プール利用の有効性を保健師の専門的立場から大いに宣伝する。プール利用の方法は、委託業者の持つノウハウを活用し、メニューを増やす。個人利用を受動的に待つのではなく、団体・グループに積極的に働きかける。その結果として利用者の増加に繋がるのではないかと。</p>	今後の方向性				
			拡充			○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
		コスト					

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	<p>◎特殊な施設であることを考えれば、近辺の市町民を対象に利用促進を図ることも今後検討すべきかもしれない。</p> <p>◎今のうちに、施設の維持補修計画を立てることが必要である。</p>
	コスト	現状維持	